南太平洋医療隊は、トンガ王国(以下、トンガ)においてヘルスプロモーションの考え方を軸に現地の歯科医療スタッフ(以下、現地スタッフ)と協力をして歯科保健医療ボランティア活動をしている。2005年からトンガにおける障害者を対象とした活動(以下、本活動)を開始した。

本活動の目的はトンガで生活する障害児・者が口腔領域に関する保健活動や医療を円滑に受けられる環境整備と良好な歯科保健行動への支援である。 2011年の活動について報告する。



以下に示す本島の施設利用者,学童,患者および施設・病院の職員や教員を対象に行った.

- 1. 施設
 - ・発達障害児・者が中心の通園施設
 - ・身体障害者が中心の入所施設
- 2. 小学校の特殊学級
- 3. 国立病院小児科





活動内容

〈障害者施設・小学校での活動〉

1. 利用者の歯科検診・全身状態の把握 対象者全員が,一人も拒否なく実施できた.

写真撮影 ② 歯科検診









3) ハルスオキシメーター



唾液の調査





- 唾液湿潤度
- 口腔水分計 による検査

5 咀嚼ガムの調査



2. 歯科疾患予防事業

① フッ化物 ② 利用者への口腔ケア指導 ③ 食事に対する支援

歯面塗布 →集団, 個別









3. 物品確保に関する支援

2009年から実施している予算確保のためのフリーマーケットに通園施設の職員および実施地域に住む利用者が参加してくれた。

1 フリーマーケット実施

オーラルフェスティバル*でフリーマーケット実施 →売り上げを歯磨き剤購入費にした.

*本隊が週末にマーケットやヘルスセンターで行う一般 住民に対する無料歯科健診や保健指導のイベント

2 物品寄付



・歯ブラシ(記名後に寄付)・歯磨き剤 など

4. 人材育成

現地スタッフと共に施設利用者と職員に対して本事業の意識調査を作製したことにより、現地スタッフは本事業の見直し、知識などの不足部分の知識を自ら質問してくるなど積極性が伺えた.

① 現地歯科スタッフとの交流





- •日常業務
- ·意識調査票作成
- ・物品提供方法の検討
- ・現地スタッフ訪問日記録用カレンダーの作製

② 職員に対する支援



- ・口腔内状態の把握
- 口腔ケア方法の指導
- ・保健指導を行う際の媒体の提供 など

〈国立病院小児科〉

哺乳困難な口唇口蓋裂児に対する哺乳指導実施

① 児・母へ ② 看護師・学生, 小児科医への指導











意識調査



質問票または口頭により質問に回答できる施設利用者および施設職員に対しトンガ語の質問調査票を配布して行った。

Fehui (Questionnaires) 2011

Hingoa(Name) Tamasi' I (Male) / Tahine (Female)
Ta'u (Age) fiha (years)
1. 'Oku ke fufulu nifo he 'aho kotoa pē?毎日,歯を磨きますか □ Yes □ No
2. 'Oku ke ilo oku anga fēfē hono fufulu ho nifo? 歯磨きの方法を知っていますか
3. 'Oku 'ke sai' ia ke fufulu ho nifo? 歯を磨くことが好きですか
☐ Yes ☐ No 4. Koe hā 'a.e ngaahi naunau fiema' u kihe fufulu niho?
歯磨きに使用する道具は何ですか
5. 'Oku ke fufulu nifo tu' o fina he 'aho? 1日,何回,歯を磨きますか
6. Koe polosi fufulunifo 'ahai 'oku 'ke ngāueaki ki hono fufulu ho nifo?
歯磨きは誰の歯ブラシを使いますが
7. Teke lava pe 'o fakatau ha' o polosi fufulu nifo?
歯ブラシを買えますか
8. 'Oku ke ngaue' aki ha kilimi fufulu nifo ho' o fufulu nifo?
歯磨きは歯磨き剤を使いますか
9. Teke lava pēo falatau ha'o fo'i kilimi fufulu nifo?
歯磨き剤を買えますか 10. 'Oku mou fiefia he' emau omai 'o ngaue fakataha mo moutolu pēhē kihe' emau tokoni moe me' a' ofa oku mau foaki atu kia kimoutolu?
私たち(南太平洋医療隊と現地スタッフ)の
皆さんに対する活動は充実していますか

※文字の理解や記載が困難な場合は、施設職員または保護者による聞き取りおよび記載とした。

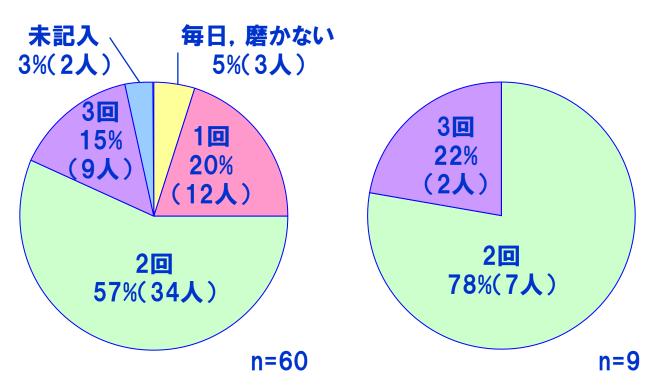
対象となった施設利用者の 主たる障害と施設の種類

	通園 施設	入所 施設	特殊 学級	計
精神遅滞(発達障害を含む)	8	3	14	25
Down症候群など症候群	8			8
肢体不自由	2	5		7
肢体不自由+精神遲滞	2	4		6
肢体不自由+視覚障害	2			2
視覚障害のみ	1	2		3
聴覚障害のみ		1		1
不明	2	2	4	8
#	25	17	18	60

1日の歯磨き回数

施設利用者

職員



歯磨きが好き

歯磨き方法を 知っている。

	利用者	職員		利用者	職員
はい	60	9	はい	51	9
いいえ	0	0	いいえ	9	0

歯磨きの使用道具(自由記載)

記載内容	利用者	職員
わからない	1	0
歯ブラシ,水	1	0
歯ブラシ、歯磨き剤	4	0
歯ブラシ、歯磨き剤、水	37	4
歯ブラシ、歯磨き剤、水、コップ	16	5
歯ブラシ、歯磨き剤、水、フッ化物	1	0

歯磨き時の歯磨き剤の使用

	利用者	職員
使用する	55	9
時々、使用する	2	0
使用しない	2	0
未記入	1	0

歯ブラシの所有者

歯ブラシ・歯磨き剤の購入者

	利用者	職員
自分	58	9
持っていない	1	0
未記入	1	0

利用者				職員	
購入者	自分	家族入	購入不可	未記入	自分
歯ブラシ	35	母3, 父0	21	1	9
歯磨き剤	36	母2. 父1	20	1	9

本事業への充実感および本事業への自由意見内容:日本語訳

	利用者	職員
はい	60	9
いいえ	0	0

利用者

- ・とても嬉しい(14人)
- ・歯ブラシを交換してくれて嬉しい(3人)
- 一緒に歯磨きをしてくれて嬉しい(2人)
- ・歯ブラシと歯磨き剤をくれるので嬉しい(2人)
- ・また来で欲しい(1人)
- ・とても良い(1人)

職員

(のべ人数)

- ・とても嬉しい (9人)
- ・継続に感謝(4人)
- ・いつも必要としている(1人)
- ・続けてきて欲しい(1人)
- ・寄付に感謝(1人)

意識が高まり施設において口腔保健の授業開始



─授業で歯を磨く時に使用する道具の絵を描いているところ





実際に利用者が描いた絵→

考察

小児科では(リ)ハビリテーションという概念がなく、哺乳の問題から長期入院となっている場合が多かった。そこで、患児だけに指導するのではなく、医療スタッフや学生、入院中の母親達にも教育したところ、患児の治療プランが生活を考慮した内容に変化し、本活動が児の医療と生活をつなぐ手助けになった。

意識調査から本活動は継続によって現地に受け入れられ、信頼されていることがわかった。また、受身であった現地スタッフが継続によって積極的に参加するようになり、小児科から「口蓋裂の子が、食事出来ずに長期入院している」という話から"何かできるかも"と新たな機会を得られたと推測された。継続した

支援は、信頼だけでなく現地スタッフの職業意識を向上させ、本隊と現地スタッフの活動を広げている、将来的には本隊との活動から現地スタッフ独自活動となる必要あり、今後、どのように支援していくべきかを検討していきたい。

信頼関係

共有時間, コミュニケーションの 充実 施設利用者・保護者・ 施設スタッフ 個人の人生観・価値観



トンガの国民性、宗教観、死生観、健康観 など

南太平洋医療隊 日本人としての考え 連携

現地歯科スタッフ個人の人生観・価値観



活動初期 本隊中心型

^{現在} 協力型

将来 自 立型